

4 「昭和62年度生まれの者」と「昭和32年度生まれの者」の年間発育量の比較

平成17年度調査で17歳の「昭和62年度生まれの者」と、30年前の昭和50年度調査で17歳の「昭和32年度生まれの者」（親の世代）の6歳から17歳までの各年齢間における身長、体重の年間発育量について比較すると、表5と図6～9のとおりになります。

（1）身長

身長の年間発育量について「昭和62年度生まれの者」と「昭和32年度生まれの者」とを比較すると、最大の年間発育量を示す時期は、男子では、「昭和62年度生まれの者」が12歳～13歳（年間発育量8.5cm）、「昭和32年度生まれの者」は12歳～13歳（同7.6cm）になっています。女子では、「昭和62年度生まれの者」が9歳～10歳（同7.3cm）、「昭和32年度生まれの者」は11歳～12歳（同7.4cm）になっています。

また、身長の発育量を小学校の時期（6歳から12歳までの時期）と中学校・高等学校の時期（12歳から17歳までの時期）とに分けてみると、男子では、小学校の時期は「昭和62年度生まれの者」が35.3cm、「昭和32年度生まれの者」は32.9cmで、「昭和62年度生まれの者」の方が大きくなっていますが、中学校・高等学校の時期は「昭和62年度生まれの者」が19.2cm、「昭和32年度生まれの者」は23.3cmで、逆に「昭和32年度生まれの者」の方が大きくなっています。女子では、小学校の時期と中学校・高等学校の時期とも「昭和32年度生まれの者」の方が大きくなっています。

なお、「昭和62年度生まれの者」の6歳から17歳までの11年間の総発育量は、「昭和32年度生まれの者」よりも男子は1.7cm、女子は2.1cmそれぞれ小さくなっています。

（2）体重

体重の年間発育量について「昭和62年度生まれの者」と「昭和32年度生まれの者」とを比較すると、最大の年間発育量を示す時期は、男子では、「昭和62年度生まれの者」が12歳～13歳（年間発育量6.3kg）、「昭和32年度生まれの者」は13歳～14歳（同7.6kg）になっています。女子では、「昭和62年度生まれの者」が10歳～11歳（同5.3kg）、「昭和32年度生まれの者」は11歳～12歳（同5.5kg）になっています。

また、体重の発育量を小学校の時期と中学校・高等学校の時期とに分けてみると、男女とも、小学校の時期は「昭和62年度生まれの者」の方が大きく、中学校・高等学校の時期は「昭和32年度生まれの者」の方が大きくなっています。

なお、「昭和62年度生まれの者」の6歳から17歳までの11年間の総発育量は、「昭和32年度生まれの者」よりも男子は1.4kg大きく、女子は1.2kg小さくなっています。

表5 「昭和62年度生まれの者」と「昭和32年度生まれの者」の年間発育量

性別	年齢区分	身長 (cm)				体重 (kg)			
		昭和62年度 生まれの者		昭和32年度 生まれの者		昭和62年度 生まれの者		昭和32年度 生まれの者	
男 子	6歳(小1)～7歳(小2)	5.5		5.7		2.3		2.2	
	7歳(小2)～8歳(小3)	6.2		5.4		3.7		2.9	
	8歳(小3)～9歳(小4)	5.0	35.3	5.2	32.9	3.1	22.4	2.6	18.5
	9歳(小4)～10歳(小5)	5.4		5.2		3.7		3.0	
	10歳(小5)～11歳(小6)	6.1		5.5		3.7		3.5	
	11歳(小6)～12歳(中1)	7.1		5.9		5.9		4.3	
	12歳(中1)～13歳(中2)	8.5		7.6		6.3		6.0	
	13歳(中2)～14歳(中3)	5.2		7.5		4.8		7.6	
	14歳(中3)～15歳(高1)	2.8	19.2	5.0	23.3	5.9	19.5	4.2	22.0
	15歳(高1)～16歳(高2)	1.4		2.0		0.8		2.1	
	16歳(高2)～17歳(高3)	1.3		1.2		1.7		2.1	
	11年間の総発育量	54.5		56.2		41.9		40.5	
	年間発育量の最も大きい年齢	12歳～13歳		12歳～13歳		12歳～13歳		13歳～14歳	
	女 子	6歳(小1)～7歳(小2)	5.4		5.8		2.1		2.3
7歳(小2)～8歳(小3)		6.1		5.7		3.3		2.6	
8歳(小3)～9歳(小4)		5.5	36.0	5.6	37.4	3.2	22.6	3.9	21.9
9歳(小4)～10歳(小5)		7.3		6.2		4.3		2.9	
10歳(小5)～11歳(小6)		6.5		6.7		5.3		4.7	
11歳(小6)～12歳(中1)		5.2		7.4		4.4		5.5	
12歳(中1)～13歳(中2)		3.2		2.9		3.7		3.9	
13歳(中2)～14歳(中3)		1.7		2.5		3.1		4.3	
14歳(中3)～15歳(高1)		0.6	6.6	1.2	7.3	1.7	10.2	2.6	12.1
15歳(高1)～16歳(高2)		0.7		0.2		1.3		1.1	
16歳(高2)～17歳(高3)		0.4		0.5		0.4		0.2	
11年間の総発育量		42.6		44.7		32.8		34.0	
年間発育量の最も大きい年齢		9歳～10歳		11歳～12歳		10歳～11歳		11歳～12歳	

(注) ・年間発育量は、たとえば昭和62年度生まれの者の「6～7歳」の年間発育量は、平成7年度調査の7歳の体格から平成6年度調査の6歳の体格を引いたものです。
 ・11年間の総発育量は、6歳から17歳になるまでの発育量の合計です。
 ・昭和62年度生まれの者とは、昭和62年4月2日から昭和63年4月1日までに生まれた者で、平成6年度調査の6歳、平成17年度調査の17歳です。
 ・昭和32年度生まれの者とは、昭和32年4月2日から昭和33年4月1日までに生まれた者で、昭和39年度調査の6歳、昭和50年度調査の17歳です。

図6 昭和62年度生まれの者と昭和32年度生まれの者の年間発育量(身長・男子)

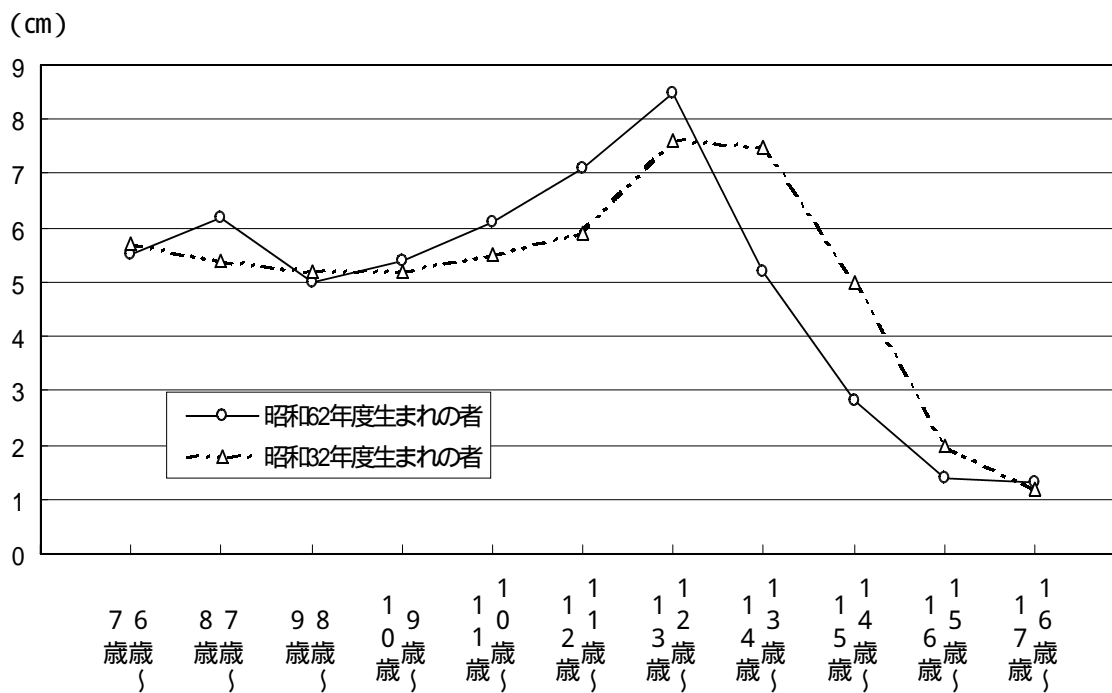


図7 昭和62年度生まれの者と昭和32年度生まれの者の年間発育量(身長・女子)

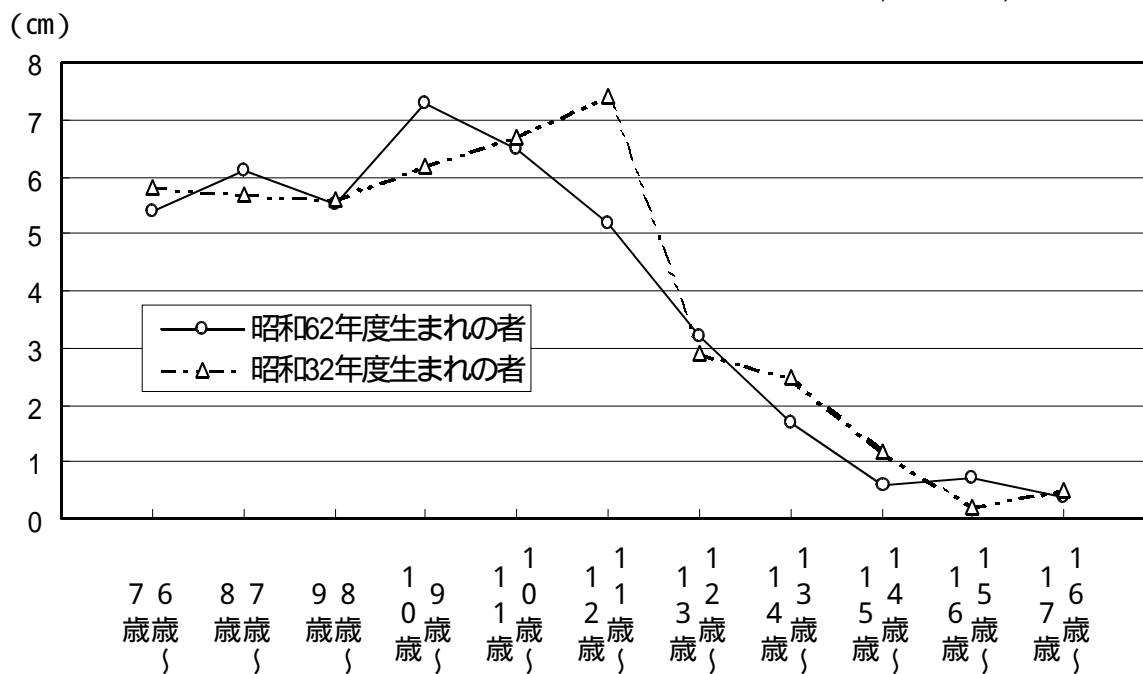


図8 昭和62年度生まれの者と昭和32年度生まれの者の年間発育量(体重・男子)

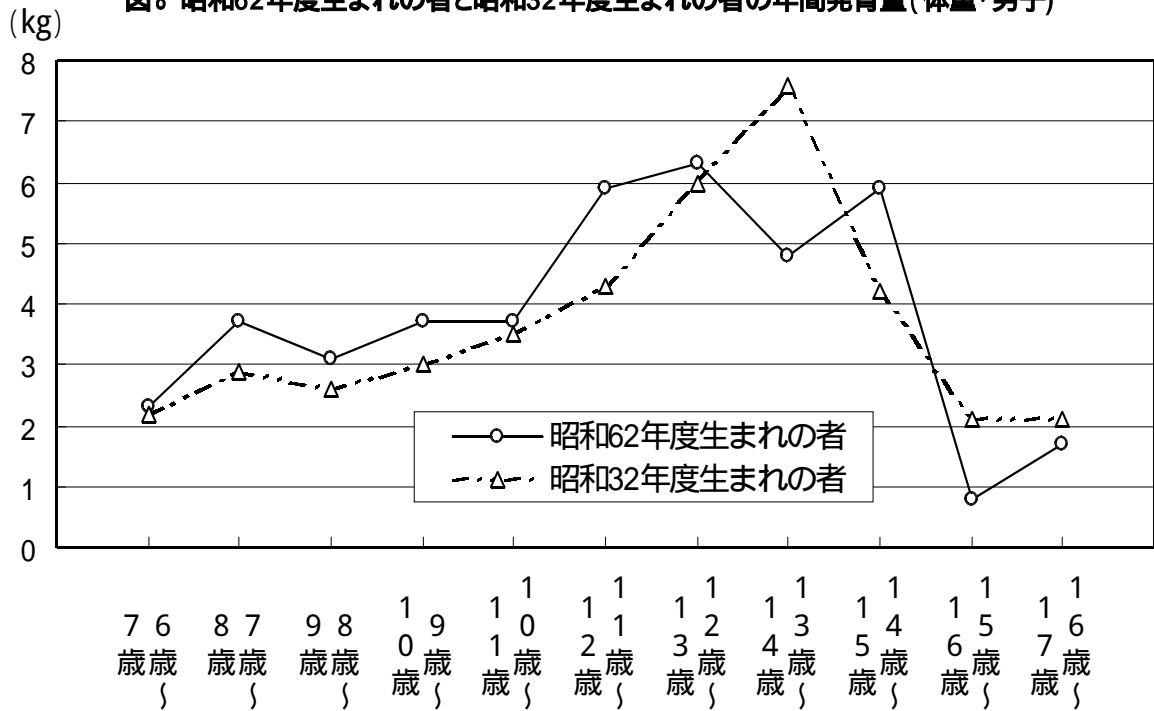


図9 昭和62年度生まれの者と昭和32年度生まれの者の年間発育量(体重・女子)

